

# 熊野川上流部の総合的な減災対策協議会

## 令和7年度アンケート調査結果

令和8年5月

1. 本協議会の経緯
2. 取組の経緯
3. 取組の進捗状況
4. 目標達成に向けた取組

# 1. 本協議会の経緯

本協議会※は、局地的大雨や集中豪雨等に伴う大規模な浸水被害や土砂災害に備え、国、県、市村が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とするものである。（※熊野川上流部の総合的な減災対策協議会）

平成29年の水防法等の一部改正により、「大規模減災対策協議会」制度が創設されたことを踏まえて、本協議会は県内の熊野川流域における県管理河川・砂防を対象とし、令和3年度までの5ヶ年で達成すべき目標を掲げ、毎年開催する減災対策協議会にて取組状況を共有してきた。

次期5カ年（令和4年度から令和8年度まで）において、円滑かつ迅速な避難や的確な水防活動の実施等の対策を実施することで、達成すべき目標に向けた取組を推進していく必要がある。

年度・日程	協議会	実施内容
平成30年7月	第1回協議会	熊野川上流部では、水防災意識社会再構築ビジョンを踏まえ、沿川市村、県、气象台、近畿地方整備局で構成される「熊野川上流の総合的な減災対策協議会」を平成30年7月に設立した。
令和3年3月	第5回協議会	<b>5ヶ年の進捗のとりまとめ</b> 、および次期5ヶ年(令和4～8年)の取組項目(案)の確認を行った
令和4年2月	第6回協議会	「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく熊野川上流部の取組方針の作成から、昨年度に開催した減災協議会を踏まえ、 <b>今期5カ年の取組項目の見直し(新規追加含む)を決定し、取組方針(案)を改定した。</b>
令和5年8月	第7回協議会	各機関の令和4年度時点の進捗状況を情報共有した。また、奈良県より水防改正に基づく「中小河川における浸水想定区域図の作成」、「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成」等について情報提供され、气象台より「防災気象情報の改善」について報告された。
令和6年5月	第8回協議会	各機関の取組の進捗状況及び、減災に係る取組事例や制度、ノウハウに関する情報を共有した。 また、奈良県より水防改正に基づく「中小河川における浸水想定区域図」、「要配慮者利用施設における避難確保計画」の作成状況について情報提供され、气象台より「顕著な大雨に関する気象情報の改善」について報告された。
令和7年5月	第9回協議会	各機関の令和6年度の進捗状況を情報共有した。 また、奈良県より「洪水浸水想定区域図策定・公表」、「情報伝達手段の整備」、「中小河川の反映した水害ハザードマップ」、「要配慮者利用施設の避難確保計画の作成状況」等の取組の情報提供され、气象台より「防災気象情報の改善と取組」、電源開発株式会社より「ダムの運用および情報伝達の改善」について報告された。

### ■ 今後5年間で達成すべき目標※

※熊野川上流部の総合的な減災に係る取組方針

熊野川上流域では大規模水害・土砂災害に対し、ハード・ソフト対策を推進して「逃げ遅れゼロ」「被害の最小化」「防災意識の向上」「被災後の早期復旧」を目指す。

### ■ 目標達成に向けた取組方針

1. 逃げ遅れゼロに向けた的確な避難行動のための取り組み
2. 氾濫及び土砂災害による被害の軽減、避難時間の確保のための取り組み
3. 意識の啓発及び防災教育拡充のための取り組み
4. 被災後のライフライン等の早期復旧実現に向けた検討及び実施



今年度の幹事会において、好事例を共有し、取組のR8年度の完了を目指す



### 3. 取組の進捗状況

令和7年度の各市町村の取組進捗状況は以下のとおりである。

#### ■様式1回答結果(1/4)

No	主な取組項目	水防に関する法的義務	R6年度		R7年度		
			実施機関数	達成率	実施機関数	達成率	未実施機関
2	流域貯留機能の拡大(事前放流の実施・体制構築)		1/1	100%	1/1	100%	
3	河川施設の老朽化・耐震化対策		0/2	0%	0/2	0%	五條市、十津川村
4	森林の整備・治山事業		1/1	100%	1/1	100%	五條市
8	砂防施設の老朽化・流木対策		0/1	0%	0/1	0%	十津川村
9	ホットライン構築による県・市村の連絡体制強化、住民への情報提供の確実な実施		6/6	100%	6/6	100%	
10	避難情報の発令基準の設定・見直し	○	1/1	100%	1/1	100%	
11	上流と下流の市村間で整合の取れた避難指示等の発令基準の作成		0/2	0%	0/2	0%	五條市、十津川村
12	避難情報の発令に着目したタイムラインの作成・更新		-	-	-	-	
12-1	タイムライン作成		4/6	67%	3/6	50%	野迫川村、下北山村、上北山村
12-2	更新の必要有無の確認		3/6	50%	3/6	50%	野迫川村、下北山村、上北山村
12-3	更新		3/6	50%	3/6	50%	野迫川村、下北山村、上北山村
13	タイムラインに基づく訓練の実施		1/6	17%	2/6	33%	天川村、野迫川村、下北山村、上北山村
14	多機関連携型タイムラインの拡充		0/6	0%	0/6	0%	五條市、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村

■ : 達成率が50%未満の項目  
■ : 達成率が80%未満の項目  
■ : 達成率が100%未満の項目

# 3. 取組の進捗状況

令和7年度の各市町村の取組進捗状況は以下のとおりである。

## ■様式1回答結果(2/4)

No	主な取組項目	水防に関する法的義務	R6年度		R7年度		
			実施機関数	達成率	実施機関数	達成率	未実施機関
15	情報提供場所の理解促進: 気象庁HPのレーダ雨量情報のリンクを自治体のホームページに貼り付け		4/6	67%	4/6	67%	天川村、野迫川村
19	住民や隣接市村に確実に伝えるため、デジタル技術等を活用した情報伝達手法の整備(河川水位等の水防情報の集約化)		6/6	100%	6/6	100%	
22	広域避難に向けた調整		1/6	17%	1/6	17%	天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村
23	要配慮者利用施設の現状把握	○	6/6	100%	6/6	100%	
24	要配慮者利用施設の避難計画の作成、避難訓練の実施		-	-	-	-	-
24-1	要配慮者利用施設の避難計画作成	○	5/6	83%	5/6	83%	野迫川村
24-2	要配慮者利用施設の避難訓練の実施	○	4/6	67%	4/6	67%	野迫川村、上北山村
25	避難所における感染症対策		6/6	100%	6/6	100%	
26-A	想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表(水害リスク情報の空白域の解消)	○	2/6	33%	2/6	33%	野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村
26-B	中小河川の洪水浸水想定区域図を反映したハザードマップの作成	○	2/6	33%	1/6	17%	野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村
27	浸水実績の周知(浸水実績図の公表)		0/6	0%	0/6	0%	五條市、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村
28	災害リスクの現地表示: まるごとまちごとハザードマップ等		5/6	83%	4/6	67%	下北山村、上北山村

■: 達成率が50%未満の項目  
■: 達成率が80%未満の項目  
■: 達成率が100%未満の項目

# 3. 取組の進捗状況

令和7年度の各市町村の取組進捗状況は以下のとおりである。

## ■様式1回答結果(3/4)

No	主な取組項目	水防に関する法的義務	R6年度		R7年度		
			実施機関数	達成率	実施機関数	達成率	未実施機関
29	教育、啓発活動の実施		6/6	100%	6/6	100%	
30	「地域防災マップづくりワークショップ」への支援		3/6	50%	3/6	50%	野迫川村、下北山村、上北山村
31	共助の仕組みの強化 (避難事例・訓練・実績の共有、要配慮者利用施設避難時の地域との連携事例の公表、地区防災計画作成支援、防災リーダー育成支援等)		6/6	100%	6/6	100%	
32	マイタイムライン・マイ防災マップの作成促進や、住民参加型の避難訓練の実施		6/6	100%	6/6	100%	
33	デジタル技術等を活用した、降雨予測や洪水予測、水位情報の提供の強化		-	-	-	-	-
33-1	①簡易水位計、量水標、河川監視用の CCTV カメラの設置等		1/6	17%	1/6	17%	五條市、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村
35	応急的な避難場所の確保		3/6	50%	3/6	50%	五條市、野迫川村、上北山村
36	民間施設を活用した避難場所・避難経路の指定及び周知、効率的な避難所運営方法の検討	○	3/6	50%	3/6	50%	野迫川村、下北山村、上北山村
37	重要水防箇所等の水災害危険個所の情報共有と関係市村等との共同点検の実施		3/6	50%	3/6	50%	野迫川村、下北山村、上北山村
38	水防団員や消防団員・水防協力団体の募集・指定の促進、地区間連携の強化		6/6	100%	6/6	100%	
39	出勤基準の必要性の再確認、基準整備		5/6	83%	5/6	83%	野迫川村
40	水防団等との情報伝達訓練の実施		6/6	100%	6/6	100%	

■ : 達成率が50%未満の項目  
■ : 達成率が80%未満の項目  
■ : 達成率が100%未満の項目

# 3. 取組の進捗状況

令和7年度の各市町村の取組進捗状況は以下のとおりである。

## ■様式1回答結果(4/4)

No	主な取組項目	水防に関する法的義務	R6年度		R7年度		
			実施機関数	達成率	実施機関数	達成率	未実施機関
41	関係機関が連携した実働水防訓練の実施(資材等の点検管理含む)		3/6	50%	4/6	67%	野迫川村、上北山村
42	排水施設等の整備		3/6	50%	3/6	50%	天川村、野迫川村、上北山村
43	被災後の電気、通信機能等のライフラインの早期復旧		2/6	33%	2/6	33%	五條市、天川村、野迫川村、上北山村
47	地域防災計画への反映	○	5/6	83%	5/6	83%	野迫川村
48	ハザードマップ作成・公表	○	6/6	100%	6/6	100%	
50	大規模土砂災害の監視・警戒・避難の体制構築		3/6	50%	3/6	50%	野迫川村、下北山村、上北山村
52	要配慮者利用施設の避難計画の作成、避難訓練の実施	○	-	-	-	-	-
52-1	要配慮者利用施設の避難計画作成	○	5/6	83%	5/6	83%	野迫川村
52-2	要配慮者利用施設の避難訓練の実施	○	4/6	67%	4/6	67%	野迫川村、上北山村
53	避難訓練の実施		4/6	67%	5/6	83%	上北山村
54	災害リスクの現地表示:土砂災害警戒区域等の標識設置	県○※	4/6	67%	4/6	67%	下北山村、上北山村
55	教育、啓発活動の実施		6/6	100%	6/6	100%	
57	斜面崩壊による河道閉塞に備えた体制の確保		2/6	33%	2/6	33%	五條市、天川村、野迫川村、下北山村
58	関係機関が連携した土砂災害を想定した避難訓練の実施(資材等の点検管理含む)		4/6	67%	4/6	67%	下北山村、上北山村
59	土砂災害危険個所の情報共有と関係市村等との共同点検の実施		2/6	33%	1/6	17%	五條市、天川村、野迫川村、下北山村、上北山村

■: 達成率が50%未満の項目  
■: 達成率が80%未満の項目  
■: 達成率が100%未満の項目

# 4. 目標達成に向けた取組

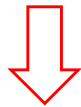
## ■現状の取組目標達成状況

R8年度の取組完了を目指す反面、依然として達成状況50%未満の取組が散見する。また、達成率が100%未満の取組は、全体の約7割である。

全取組の進捗を促進することを目的に、担当者会議(意見交換会)を開催した。

## ■担当者会議(意見交換会)の概要

取組を完了した市町村の担当者より、下記テーマに沿った取組事例の共有・意見交換を行った。



取組未実施の市町村が抱える課題や悩みの解消を図る

## ●意見交換テーマ

- ・取組・実施内容
- ・実施する上での課題・難所・工夫
- ・参考事例・資料

## ●対象取組

- ・中小河川の洪水浸水想定区域図を反映した水害ハザードマップの作成
- ・まるごとまちごとハザードマップの検討
- ・避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な退避場所の確保
- ・簡易水位計、量水標、CCTVカメラの設置等
- ・要配慮者利用施設の避難訓練の促進支援

1. 意見交換会概要	
■意見交換の対象取組 ・意見交換会にて、対象となる取組を以下に示す	
取組番号	実施内容
紀の川圏域 18-B	熊野川上流部 26-B 中小河川の洪水浸水想定区域図を反映した水害ハザードマップ
24	28 まるごとまちごとハザードマップの検討
26	35 避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な退避場所の確保
35	33-1 簡易水位計、量水標、CCTVカメラの設置等
29-2	24-2 要配慮者利用施設の避難訓練の促進支援
■意見交換テーマ ・意見交換会では、以下に示すテーマに沿って、取組事例を共有する	
No	テーマ
1	取組・実施内容
2	実施する上での課題・難所・工夫
3	参考事例・資料

2. 意見交換会	
■対象取組	
取組番号	実施内容
紀の川圏域 24	熊野川上流部 28 まるごとまちごとハザードマップの検討
■取組概要 ・まるごとまちごとの設置等を実施する ・地域住民と共同し、まるごとまちごとの設置場所やデザインの選定等を実施する	
●参加イメージ	
■意見交換テーマ	
No	テーマ
1	取組・実施内容
2	実施する上での課題・難所・工夫
3	参考事例・資料

## 4. 目標達成に向けた取組

### ■担当者会議(意見交換会)で得られたご意見

意見交換会では、参加した市町村の担当者より、「業務の進め方に関して、参考になった」等、前向きな感想を得ることができた。意見交換会において、市町村の担当者より得られたご意見は、以下のとおりである。(◆:課題・悩み >:対応策・工夫点)

#### ◆他業務を優先しており、人手を割けていない

- 業者委託により、人手不足を解消している
- 補助金を活用することで、費用負担を軽減した
- 奈良県としても、支援を進めて行く【奈良県】

#### ◆市町村内の地区において、どの地区から取り組むべきか選定できない

- 防災活動に前向きな地区から着手した

#### ◆山間部という地理特性上、緊急退避場所の確保が難しい

- 取組の代替方策を検討・実施した
- 取組事例集を活用することで、他地域の取組内容を参考にすることができる【奈良県】

#### ◆取組を実施する上で、何から着手すればいいか分からない

- 取組事例集を活用することで、他地域の取組内容等を参考にすることができる【奈良県】

**★意見交換を通じて、課題解決に有効な情報及び解決策を共有することができた**

# 4. 目標達成に向けた取組

## ■ 取組事例集の活用

市町村の担当者が取組の参考資料として活用することを目的とし、他地域における取組の実施内容を収集・整理し、事例集としてとりまとめた。

## ■ 取組事例集の概要

水害・土砂災害を中心とした取組事例をとりまとめており、「取組概要」「実施主体」「連携機関」を簡潔に整理している。

「実施主体」「連携機関」を紹介

取組ごとに、他地域における取組概要を紹介

出典を明記

取組事例集

取組機関 広島県呉市 連携機関 なし

### 取組概要

迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組【呉市】

- 洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知
- 避難計画の作成・確認

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図を基にした水害ハザードマップを作成し、印刷物の配布、ホームページへの掲載等により住民等へ周知  
想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図に基づき、市町避難計画を見直し住民等へ周知

令和3年度末に作成した二河川・野呂川(想定最大規模・計画規模)及び一部中小河川(想定最大規模)の浸水想定区域図を基にした洪水ハザードマップ(印刷物)の周知  
<https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/82/kouzuihazardmap-r3.html>

令和3年度末に作成したWEB版ハザードマップ(中小河川の想定最大規模を全て反映済み)の周知  
<https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/82/web-hazardmap.html>

### 出典

令和4年度の主な取組事例広島県西部建設事務所管内(東ブロック)  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/541911.pdf>

10

広島県  
年 2月